

生麦保育園

第三者評価報告書

(評価講評)

平成28年度

かなわが福祉サービス第三者評価



日本コンサルティング株式会社

総評(評価結果についての講評)

【施設の概要】

生麦保育園は横浜市より民間移管を受け、2014年4月から社会福祉法人尚徳福祉会が運営しています。京浜急行生麦駅より徒歩10分程度の閑静な場所にあります。前面道路を挟んで向かい側に小学校があり、5歳児が就学に向けての学校体験をするなど、交流しています。近隣には鶴見川や魚河岸、公園があり、様々な戸外活動に取り組める環境にあります。また、のびのびと遊べる園庭もあり、子どもたちは鬼ごっこやボール遊び、砂場遊びなど戸外で活発に過ごす他、園内の畑で野菜を育て収穫する体験もしています。給食は地元業者から、旬の食材や魚を多く取り入れ、栄養士管理の下、子どもたちに提供しています。園で収穫した野菜も調理、提供しています。障がい児やアレルギー、外国籍等、配慮が必要な子どもおり、除去食や宗教上の禁食の徹底にも力を入れています。健康面では毎朝看護師が全クラスを巡回し、子どもの体調を確認しています。内科健診や歯科健診は年2回行っており、歯科衛生士による歯磨き指導も取り入れています。

【特に良いと思われる点】

1. 地域との繋がりを大切に、地域の中で子どもたちは育っています

地域に開かれた園として、地域のさまざまな年代や立場の人々との交流の機会を大切にしています。年数回の「地域ふれあい会」は地域の高齢者と4、5歳児がゲームをしたり、昔の遊びを教えてもらうなど交流をしています。公園愛護会の協力を得て、子どもたちが近隣の公園の植樹や花壇作り活動に参加しています。地域の他園との交流のほか、小学校、中学校との教育連携も図られています。さらに毎月、地区センターで開催している就園前の親子向けの「生麦にこここサロン」には5歳児クラスがお世話係で参加しています。日常の散歩でも、近隣の公園のほか、鶴見川や土手、魚河岸など鶴見の地域性のある場所に出かけています。子どもたちは、さまざまな交流や豊富な体験、地域との繋がりの中で育っています。

2. 子どもたちの自主性や意思を尊重する環境をつくっています

保育室は、子どもたちの成長や興味に応じてコーナーを変更していく、お気に入りの絵本の場面を園庭で再現し、想像力を膨らませながら子どもたちで遊びを発展させていく、自由遊びで完成したブロックの制作品を飾りたいとの思いには、玄関を展示場所として提供しいろいろな人に見てもらい、雨で体育館開催となった運動会も子どもたちの「外でやりたい」という希望に急遽幼児のプログラムを変更して対応するなど、職員は、子どもたちの自主性や意思を尊重する環境をつくっています。子どもが中心の保育の実践を確認する各会議は話しやすい雰囲気大切にしており、遠慮なく発言しあうことで、情報の共有を図っています。園長のリーダーシップの下、職員間の風通しの良い関係とモチベーションの高さがあり、全職員で子どもたちの成長を見守っています。

3. 職員自己評価の実施および園長面談や全職員の個別研修計画により次代の園運営への人材育成が進んでいます

常勤職員、非常勤職員を問わず理念や方針、園の目標および保育姿勢については職員会議はじめ保育課程、指導計画の作成や振り返りにより職員は理解を深めています。全職員には「保育スタッフの心得チェックリスト」が配布され、当園の業務基本マニュアルとして周知されています。園では年間を通して職層別の研修を実施しています。園長は職員の自己評価チェックリストや園長面談、職員との日常的コミュニケーションや主任との会議により、職員の経験や能力、現状の課

題を把握しています。よって、全職員参加の法人研修とは別に、外部研修のテーマに合わせて年間の研修計画を策定し、職員個別の育成を図っています。また、クラスミーティング内容や子どものケースについては毎日の申し送りや周知表および職員会議で情報を共有して、必要に応じて主任や園長だけでなく他のクラス担当も保育協力しています。当園では保育の柔軟な体制が日常化できており、次代の園運営への人材育成が進んでいます。

【今後の取り組みが期待される点】

1. 次代を担う子ども達への教育として、省エネルギーや緑化およびリサイクルへの取り組みは明文化により目的や考え方を周知することが望まれます

当園では環境に配慮した取り組みとして、保育室の遊具や制作活動の素材として廃材利用がされています。野菜くずは園庭での野菜や花の栽培に肥料として活用するなど、ごみの減量化に取り組んでいます。夏の遮光目的の緑化効果を図ったり、電灯やエアコンのこまめなチェックによる電気や水道の無駄遣いの防止を励行しています。パネルシアターでは色々な「もったいない」を気づくなど、省エネルギーへの教育にも取り組んでいます。玩具のリサイクルなど、環境に配慮した取り組みも実行しています。これらさまざまな取り組みは目的や考え方を明文化することで、次代を担う子ども達への教育と位置づけ、保護者にも周知が望まれます。

2. 事業計画・事業報告をより具体的に作成する事が期待されます

事業計画では、まず「事業所の方針」を掲げ、次に事業内容についての計画を法人が関わる計画と園独自の計画を記載しています。そして最後に平成27年4月1日から掲げている中長期計画の記載があります。これらの記載により、将来の園の方向性に関しては確認する事ができますが、計画の具体性という面では課題が残ります。また、法人単位で事業報告を作成していますが、来園した子どもの人数の報告が目立ち、計画に対する実行報告という面では課題が残ります。今後は具体的内容を明記した計画書の作成とそれに対する結果報告書の作成による計画と振り返りの充実が期待されます。

3. 育児相談は定期的な日時を設けての対応が期待されます

園の専門性を活かし、地域住民に向け育児相談を実施していますが、随時の対応としています。相談日を定期的に設け、相談日には相談を受ける職員が必ず待機しているなど、今まで以上に充実した育児相談を実施する体制作りが期待されます。

**評価領域 I ～ VI
評価と講評**

評価領域 I 利用者本人(子ども本人)の尊重

評価分類	評価の理由(コメント)
<p>I-1 保育方針の共通理解と保育課程等の作成</p> 	<p>当園では、すべての子どもたちが、自分を「かけがえのない存在」と感じ、自信を持って生きていかれるように、を思想として理念および保育方針を掲げています。「いきいきと活動する子ども」「思いやりを持てる子ども」を園の目標として、子どもの楽しく安心した生活を尊重した保育姿勢を定めています。理念、方針、目標と保育姿勢は園内に掲示するとともに、新年度の新人研修および職員会議等で全職員に説明して理解を深めています。理念や方針、目標と保育姿勢を基本とした保育課程および各クラスの年間指導計画に基づいた保育が実施されています。</p> <p>保育課程は、理念や方針、目標と保育姿勢に明文化するところの、子どもの最善の利益を第一義として一貫性のあるものとなっています。保護者からの期待や要望に応え、園では子どもの保育希望時間の長短・在所時間の長短、子どもの発達及び家庭の状況に即した保育方針を掲げています。隣接する小学校など地域交流も視野に入れて作成しています。各クラスミーティングからの職員案を職員会議で討議し作成します。保護者には入園時や年度初めの保護者会で理念や目標、保育姿勢とともに保育課程を説明しています。もし年度途中で保育課程に改定した場合は、書面および口頭により保護者へ説明を行います。</p> <p>保育課程を基本として、子どもの発達と保育の連続性を考慮しながら年齢ごとの指導計画を作成しています。乳児および配慮を要する幼児には個別指導計画も作成しています。保育士は、食事やうがい手洗いなどの大切さ、怪我につながる遊び方、安全な道具の使い方など、子ども達が集中した環境をつくった上で説明します。思いやりや注意しなければいけない事について、子ども一人ひとりの考えや意見を言葉で発する場面として、紙芝居やパネルシアター、パペットなどを活用しています。</p> <p>当園では、「子どもが遊んでいる時、保育士は手や口をはさむことなく、集中している時は声をかけない」を方針としています。保育士は日常的に子どもの意思をくみ取り指導計画の作成・見直し時には配慮しています。運動会や音楽会、おたのしみ会などでは、子ども達の要望をいくつかの案にまとめ、子どもの意見により演目を決めています。練習が進む中で子どもの状態や提案をみんなで話し合い、意思を確認して計画を柔軟に見直しています。</p>
<p>I-2 子どもの発達や状況に応じた適切な援助の実施</p> 	<p>入園前に提出された子どもの健康状態や生活の様子などの資料をもとに、保護者面接を実施しています。面接内容は記録により職員間で共有し、クラス担当だけでなく全職員が把握しています。連絡ノートを活用することで、基本事項を簡略化し保育上の子どもの様子を詳細に記述しています。保護者との情報交換や伝達は密に行い、家庭での子どもの様子についても把握しています。保育士全員が子ども一人一人の状態を共有しいつでも適切な対応ができるようになっています。</p> <p>慣らし保育については、入園前に説明し保護者と話し合いながら、個別の日程で</p>

実施しています。必要に応じて、家庭で使用している馴染みの品物を持参して、子どもが落ち着いて過ごせるように配慮しています。慣らし保育の間は些細な出来事も連絡帳に記入して自宅と園での生活に連続性をもてるように努めています。在園児は進級時には早めに進級後の保育室に引っ越し、保育環境に慣れて新年度を開始できるようしています。

毎月子どもたちの発達を測定、記録し、発達経過を確認・評価して各クラスミーティングで指導計画の見直しを行っています。指導計画の評価については毎月開催する乳児会議、幼児会議で検討して、カリキュラム会議や職員会議で計画を変更します。保護者との連絡ノートや面談、会話等で知り得た子どもの発達情報や保護者の希望や意向は全職員で共有して指導計画に反映させています。

当園では、保育士がクラスを越えて保育協力ができる状況であり、0、1歳については、乳児個別に主担当保育士を決める事なく、クラス担当保育士の誰もが中心となって保育を行っています。

I-3 快適な施設環境の確保



各クラスは、屋内外を清潔に保ち、空気の入替えを適宜行っています。保育室には子ども達に適切な温湿度が確保されるよう加湿器を配置しています。保育室前は広い開口で陽光は十分ですが、テラスには遮光ネットを備えて夏の照り返しを防ぎ、天井にはファンを設置して室内温度の上昇を抑えています。また、園での活動が近所に騒音にならないよう、相互に注意しあうなど、配慮もしています。

0歳児クラスには、畳と床のスペースがあり低い棚の配置によりコーナーに分けて少グループでの保育を行っています。他のクラスでも低い棚で間仕切り、コーナー毎に遊ぶなど、子どもが集中できる空間を作っています。週1回、4歳児と5歳児の保育室のパーティションを開放して3歳から5歳が合同でリズム活動や月1回「にこにこまんグループ」と呼ばれる異年齢交流での保育を行っています。

I-4 一人一人の子どもに個別に対応する努力



3歳児未満の子どもは一人一人の保育について、クラス担当の保育士でミーティングを行い、毎月個別指導計画を作成しています。また、配慮を必要としたり特別な課題がある3歳児以上の子どもについても、個別指導計画に基づいて、毎日の振り返りを行っています。離乳食・トイレトレーニングなどは保護者と連絡帳や送迎時の対話で頻繁に相談し、得て、子どもの発達にあわせて計画を見直しています。子どもの課題によっては、クラス担任が園長や保護者、東部地域療育センターに相談して計画や援助の見直しを行います。重要部分を含め保護者に説明して同意を得ています。

保育所児童保育要録は、持参して就学への挨拶を行っています。子どもの個別の発達状況は入園前からの発達確認記録等を個別にファイル管理し、健康記録、予防接種、定期検診等の記録と毎月の成長発達記録を記入しています。記録内容はクラスミーティングや職員会議で周知、共有しています。成長発達記録は、看護職員が一覧表を作成して進級時には前もって新担任へ伝達共有されています。

I-5 保育上、特に配慮を要する子どもへの取り組み



特に配慮を要する子どもは毎年積極的に受け入れ、何らかの障がい、アレルギー、外国籍など、今年度は18名程が在園しています。毎月のケース会議で話し合い、課題と援助方法を全職員で共有しています。また障がい児保育等専門的な研修には積極的に参加し、研修報告や資料を職員用周知表としてファイルして、いつ

でも情報の確認ができるようにしています。

障がい児の保育のためには、廊下や水回りには手すりを設置しています。固有の障がい特性を考慮した個別支援計画の作成や見直しについては、保護者の同意のもと、東部地域療育センターの巡回訪問を受けて、アドバイスを受けています。また、提供された個別対応への専門的な情報は、担当職員だけでなく、ケース会議や職員会議にて全職員で討議共有し、園全体で見守りを可能としています。障がいのある子どもとない子どもが自然に関わりを持てるように、子どもたちには分け隔てなく、同じように対応するようにしています。虐待対応マニュアルはじめ、虐待相談・通告受付表やチェックリスト、児童虐待連絡票、などを整備しています。職員誰もが虐待の種類・早期発見のポイント、発生もしくは疑わしい場合の対応を認識しています。横浜市中央児童相談所とは日ごろから連絡をとり、通告や相談しやすい体制に備えています。虐待の芽チェックリストを活用して、早期発見や予防および必要とする保護者支援、関わり方など職員会議等で話し合う機会をもっています。

アレルギー疾患のある場合は、保護者から主治医の指示書を受けて適切な対応を行っています。各種アレルギー対応についてはマニュアル化して全職員で知識や情報を共有しています。食物アレルギーについては、誤食事故防止のために除去食材や代替え食材を一覧表で確認しています。配膳では個別に運び、専用トレイや食器、名札により職員2名がダブルチェックして安全を確保しています。また、除去食については、保護者と担任や栄養士および園長は、毎月の個別面談により状況を確認しています。

外国籍の子どもについては、保護者に確認して、宗教上の禁食には代替え食材を用意しています。生活習慣や食事など文化が異なる場合は、孤立や疎外の発生予防に配慮しています。保護者へは園のお知らせや掲示物にはルビをふるなど配慮しています。言語の理解が困難な場合は通訳での対応も行っています。

I-6 苦情解決体制



重要事項説明書には相談苦情受付責任者は園長と定め、第三者委員氏名・連絡先とともに受付方法を記載して、入園前に保護者へ説明し配布しています。入園当初配布、説明される「園のしおり」には、苦情解決制度について、目的や苦情の定義、体制および第三者委員へ直接苦情の申し出ができる事、苦情解決第三者委員2名と鶴見区こども家庭支援課やかながわ福祉サービス運営適正化委員会を明記しています。相談苦情連絡先や第三者委員の連絡先は事務所横に掲示し保護者に知らせています。保護者には行事や年数回の保護者アンケートの実施や、意見箱を設置して、意見や苦情を受付けています。意見を表明しづらい園児や保護者に対しては、個人面談を勧めたり、連絡帳や送迎の対面時に、要望を聞き出すように努めています。

苦情解決規定および苦情解決マニュアルには、受付責任者を園長と定めて、対応手順や注意すべき点、解決策の周知等を明示し、苦情解決報告書や苦情処理確認票、第三者委員にも報告する書式を整備しています。保護者の意見や要望は、内容によりクラスミーティングや職員会議で解決策を話しあい全職員で情報共有しています。苦情解決のデータは蓄積、分析した上で、の対処や苦情再発防止に生かしています。

評価領域 II サービスの実施内容

評価分類	評価の理由(コメント)
<p>II-1 保育内容[遊び]</p> 	<p>保育室内は、低い棚に絵本や各種のおもちゃ、教材を置いています。マット、机、衝立などを利用して遊びに合ったコーナーを作り、それぞれ落ち着いて遊べるようにしています。コーナーは子どもの成長や興味に応じて変更しています。子どもたちがおもちゃを出し入れしやすいように棚やかごに番号や写真を貼る工夫をしています。お気に入りの絵本の場面を再現したいと子どもたちから提案があり、園庭の砂場を海に見立て、段ボールの大箱の海賊船に乗って、と子どもたちは遊びを発展させています。ブロックの制作品を飾りたいとの思いには、玄関を展示場所として提供しているいろいろな人に見てもらっています。職員は、子どもたちが友だちと遊ぶこと、一人で遊びこむことなどやりたいことが保障できる環境をつくっています。</p> <p>園の畑でキュウリ、ピーマン、サツマイモなどの栽培、ヒマワリ、アサガオなど花を育て成長や収穫の喜びを味わっています。幼児は全員ポケット図鑑を持っており、戸外活動時に植物観察をしています。飼育しているカメのみどりちゃんは子どもたちの人気者です。</p> <p>散歩では、近隣の公園のほか、鶴見川や土手、魚河岸など鶴見の地域性のある場所に出かけています。公園の緑、草花、木の実拾いなど季節の移り変わりを感じています。散歩時には職員から積極的に地域の人々に挨拶をしています。ゴミ収集車の職員とも顔なじみになっています。</p> <p>乳児は職員と歌や体操、わらべ歌、手遊びなど楽しんでます。幼児も歌やリズム、絵、制作などやりたいことができるようにしています。幼児クラスはクレヨン、自由画帳、のりは各自で持っているほか、必要に応じて廃材(牛乳パック、空容器など)を用意して制作しています。専門講師による英語教室でも子どもたちの自由な表現を引き出せるようにしています。</p> <p>乳児のかみつきやひっかきは職員がすぐに止めに入りますが、子どもの気持ちや欲求を推し量るようにしています。幼児のけんかには、すぐ職員が介入せず、子ども同士で話し合っ解決できるように見守っています。必要に応じて双方から話を聞き、気持ちを代弁したり、相手の気持ちを思いやることができるように伝えています。職員は、穏やかで優しい言葉かけをしています。子どもの言動には意味のあることを理解し、受け止め、共感できるよう努めています。</p> <p>3～5歳児の異年齢交流は「ニコニコまん活動」として計画に基づき進めています。ゲームや遊びを楽しんだり、給食を一緒に食べるなど関わりを深めています。</p> <p>雨が降らなければ散歩や戸外活動に取り組んでいます。園庭で巧技台、平均台、跳び箱を利用して手作りアスレチックやサーキット運動、土手や広い公園でのかけっこ等体力増進を図っています。どろんこ遊びは子どもたちのお気に入りです。乳児は室内で棚を利用してのトンネルくぐり、牛乳パックブロックの昇り降りなど楽しんでます。体調が悪い時には無理をさせず、保育室で静かに過ごしています。戸外活動時は日よけの帽子を被る、夏場の園庭やプールの日除けで紫外線や日差し対策をしています。虫よけには天然素材のレモンガラスのスプレーを使用しています。</p>

II-1 保育内容[生活]



食事は、苦手なものがある場合には本人に確認をして量を調整しています。一口でも食べられた時や完食できた時は誉めています。授乳時に使用する哺乳瓶の乳首は家庭と同じものにしてあります。離乳食は子ども一人一人の発達や食べるペースに合わせて対応しています。

3歳児クラスから後片付けを始め、5歳児クラスは盛り付け当番があります。トウモロコシの皮むき、そら豆のさや出しなど多くの食材に触れる機会をつくり、園の畑で栽培した野菜を調理してもらったり、クッキングにも取り組んでいます。自分たちで関わった食材だけに食も進みます。節分には4、5歳児クラスが力を合わせ、3メートルもある恵方巻作りにも挑戦しています。

給食は和風の献立を中心に、旬の食材や魚を多く取り入れています。行事食や伝統食のほか、幼児はバイキングあり、それぞれに合わせた盛り付けにしています。子どもの状況に応じて配慮食を個別に提供しています。食材は、市立保育園時代からの信頼のおける地元の業者から取り寄せています。子どもたちの残食は、栄養士が記録する「給食日誌」で確認していますが、日常的に栄養士がクラスをまわり、子どもたちの様子を観察しています。給食会議や職員会議で保育士とも情報交換をし、食材の切り方、味付けなど月2回のサイクルメニューの次回の改善や献立作成につなげています。

保護者には、毎月25日に翌月の献立表を配付しています。給食だよりには旬の食材、家庭での食を通じた健康管理に役立つ情報、レシピ等を掲載しています。サンマの食べ方が分かる布製のサンマを展示し、保護者にも関心をもってもらえるようにしています。新入園の保育の初日には保護者も一緒に食事を摂り、栄養士とも話し合っています。その他、保育参加時に試食が可能です。毎日の給食・おやつのサンプルは玄関にフォトフレームで紹介しています。

眠れない子どもや早く目覚めた子どもは職員の傍で静かに遊んでいます。事務室や地域支援室(コアラ室)で過ごすこともあります。乳幼児突然死症候群に対する対策は、0歳児クラスは5分おき、1、2歳児クラスは10分おきに呼吸と姿勢チェックを行っています。5歳児クラスは就学に向けて秋の運動会終了後から保護者に希望を聞き、個別対応をしています。散歩に出かけたり、室内で自由遊びをしています。体調等により午睡をする場合には他のクラスで眠っています。

活動の区切りの声かけのほか、一人一人の排泄間隔を把握し、援助しています。トイレトレーニングはトイレに慣れることから始めています。保護者との連絡を密にとり、職員が園での取り組みの様子もアピールしながら負担のないように進めています。おもらしをした子どもにはさりげなく対応し、必要な場合はシャワーで洗い流しています。

II-2 健康管理・衛生管理・安全管理[健康管理]



毎朝受け入れ時に担当が子どもの観察をし「視診簿」に記入をしています。0歳児クラス担当の看護師も全クラスを巡回し、気づいたことは「保健日誌」に記録をしています。子どもの健康状態で引継ぎ事項がある場合は「申し送りノート」に記載しています。蕁麻疹など発症時の写真を撮って保護者に確認をしてもらう場合もあります。

歯みがきは1歳児クラス後半から歯ブラシに慣れ、2歳児クラスまで職員が仕上げ磨きをしています。4、5歳児クラスは年に2回歯科衛生士による歯みがき指導(赤染め)があり、歯の大切さを学んでいます。

	<p>内科、歯科健診を年2回実施しています。結果は保護者に書面で伝えています。嘱託医が子どものかかりつけ医となっている場合が多く、気になる場合は、園長、栄養士、看護師同席で子どもへの対応について話を聞いています。感染症の流行や予防接種の情報を嘱託医から伝えてもらったりしています。</p> <p>登園停止基準のある感染症について、「保育園のしおり」に記載し、入園説明会で、保護者に説明しています。感染症発生時には、速やかに玄関と各クラスに掲示し、情報提供しています。配慮工夫として、妊娠中の保護者の送迎時は園内には入らず、玄関での対応としています。地域の最新情報は、横浜市や鶴見区からファクスが入り、職員間で情報共有しています。</p>
<p>II-2 健康管理・衛生管理・安全管理[衛生管理]</p> 	<p>マニュアルの見直しは各クラスで年度末に行い、全体会議で周知しています。衛生管理マニュアルに基づいた清掃や消毒を行っていますが、子どもの靴の扱い方法により床のざらつきがあります。靴を持つての移動方法について検討が期待されます。</p>
<p>II-2 健康管理・衛生管理・安全管理[安全管理]</p> 	<p>保育室内は高い家具や備品の設置はありません。低い棚であっても転倒防止のすべり止めを敷いたり、落下防止の用具を取り付けています。</p> <p>緊急時の連絡先の掲示、消防署につながる緊急通報装置を設置しています。保護者にはメールの一斉送信と災害伝言ダイヤルを使用することとしています。</p> <p>「避難・防犯訓練年間予定表」に基づき毎月想定を変えた避難訓練を実施しています。その中には通報訓練、地域の避難場所(生麦小学校)への誘導、鶴見区消防署の協力を得た起震車や消防車体験を盛り込んでいます。災害時には安全性を考慮し、園に留まることを基本としています。救急救命法は全職員が受講しています。</p> <p>子どものケガや傷は小さなことでもお迎え時に保護者に報告をしています。事故報告に至らない小さなケガや傷、職員の気づきのヒヤリハットは「周知表」でクラスに関係なくその日のうちに共有しています。病院対応があった場合は、事故報告書に記載をしています。職員会議で事故の報告と改善方法を検討しています。</p> <p>不審者対応マニュアルに基づいた対応策を講じています。年3回の不審者侵入、対応訓練のほか、日常的には防犯カメラを設置し、事務所で確認をしています。警備会社と契約をしています。訪問者はカメラで確認後案内をしています。保護者は電子錠に暗証番号を入力し、園内に入っています。不審者に関する情報は区や警察署からファクスが届いており、職員間で共有しています。隣の生麦小学校との連携体制も整っています。</p>
<p>II-3 人権の尊重</p> 	<p>子どもの人権の尊重については、保育士業務マニュアルに記載し、子どもに対して相応しくない態度や言葉遣いが生じないように、「保育スタッフの心得チェックリスト」を目安として職員間で注意喚起を養っています。職員相互に子どもへの接し方や対応で気づいた場合は話し合う機会が日常的にもたれ、職員会議で事例検討などにより周知されています。園の保育の方針である「子どもが遊んでいる時、保育士は手や口をはさむことなく、集中している時は声をかけない」ことにより、子どもの気持ちや発言を受けとめる保育が実践されています。</p> <p>事務所の一部や地域支援室の一角など、保育室を離れて個別に対応できる場所を用意しています。必要に応じて、保育士と子どもが一对一で威圧感なく話しあえた</p>

り、絵本や玩具も用意して、子どもが気持ちを切り替える事ができるよう工夫をしています。場合によっては、事務所や地域支援室内を間仕切りにより1人になれる場所を作る場合もあります。また、クラス担当を越えて情報を共有しているため、子どもたちはどの職員とも親しく、職員全員で子どもを見守る体制が出来ています。おもしろしの着替え等は、他の子どもにわからないように保育士がそっと片付ける場面では、他の子ども達を他のクラス担任が見守るなどスムーズな連携がみられています。

個人情報取り扱いマニュアルでは個人情報保護に関する方針を定め、園内研修を実施して守秘義務の意義や目的を全職員が認識しています。ボランティアや実習生にも参加時に説明して個人情報保護移管する誓約を交わしています。保護者には入園時に個人情報保護方針を説明し、個人情報の取扱いに同意を得て署名を交わしています。子ども達や保護者に関する記録は、施錠できるキャビネットに保管し管理しています。

日常生活の中では子ども達を性別による区別はしないよう努めています。男女の別なく遊びのグループ分けや行事の役割、持ち物などを自由に選択する環境を整えています。保護者に対しては、お便りや保育説明の場面で、男女の役割を固定的にとらえた表現をしないように努めています。職員の間では性差について過剰に意識せず、関わり方を固定的にしないように話し合っています。

II-4 保護者との交流・連携



保育園のしおりや重要事項説明書に保育理念、園目標、保育姿勢を明記し、入園説明会と年度始めのクラス懇談会で伝えています。年度末に設置法人として1年を通しての園生活について「保育園現況調査アンケート」を実施しています。結果から方針が伝わっているか、どんな意見があるかが分かり、今後の参考にしています。

登園時に保育士が子どもの家庭での様子を聞き、降園時に園でのその日の様子を保護者へ口頭で伝えています。連絡ノートは設置法人が用意した独自のもので、できるだけ詳細に、且つ記入しやすいように工夫し、0歳児、1、2歳児、幼児と使い分けています。

クラス懇談会2回、個別面談は年1回実施しています。面談に関しては、前記の他、希望がある時や必要に応じて対応をしています。

保護者からの相談場所は、ゆっくりと話ができるよう地域支援室(コアラ室)や事務室を使用しています。相談内容によっては園長、主任、栄養士、看護師が同席し、適切な対応に努めています。相談内容は保護者対応ファイルに記録し、継続的なフォローをしています。内容によっては職員会議で情報を共有し、園としてフォローができるようにしています。

園だより、クラスだより、給食だよりを毎月発行しています。日々の保育の様子は各クラス写真入りコメントで知らせています。用紙はまとめてファイルしており、過去のものも閲覧ができます。また、ファイルは廊下に置いてあるので、他クラスの様子を知ることができます。その他大きな活動、おもしろい活動があった時は、パネルシアターとして玄関に大きく展示しています。また、ホームページで随時情報提供したり、年2回ビデオ、写真を販売しています。

年度始めのクラス懇談会で年間行事予定を配付しています。子どもたちの遊び・生活の様子を見てもらうことや園の保育の理解促進のため、保育参加をいつでも受け入れています。クラス懇談会では子どもの様子、成長を伝え、今後の予定などを

説明しているほか、意見交換もしています。出席できなかった保護者には後日口頭で説明をしたり、報告書資料を配付しています。

保護者会組織があり、移動動物園、ピエロの大道芸など園との共同行事開催や話し合いには園長が同席し、相談に乗ったり、アドバイスをしており協力体制を整えています。

評価領域 III 地域支援機能

評価分類	評価の理由(コメント)
III-1 地域のニーズに応じた子育て支援サービスの提供 	<p>園庭開放、一時保育など園が実施している地域の子育て支援サービス利用者や園見学者からアンケートをとったり、生麦地区育児支援イベントへの参加などを通じ、地域の子育て支援ニーズを把握するように努めています。鶴見区園長会、民間保育園園長会、幼保小連絡会、鶴見区社会福祉協議会の会合に園長が出席し、地域の情報を得ています。</p> <p>年度末の職員会議で地域子育て支援活動の報告をし、地域ニーズについて話し合い、次年度の活動に活かしています。園では、一時保育、園庭開放、交流保育、育児講座(歯科医や看護師)、離乳食講座、絵本貸し出しを定期的に行っています。一時保育の受け入れは1日4名ですが、希望者が多くキャンセル待ちが出ています。</p>
III-2 保育所の専門性を活かした相談機能 	<p>育児相談は随時の対応としています。今後は定期的な日時を設けての対応が期待されます。</p> <p>園で実施している地域支援活動については、園の掲示板のほか、地区センター、地域ケアプラザ、鶴見区地域子育て支援拠点などにリーフレットを配布し、幅広い情報提供に努めています。</p>

評価領域 IV 開かれた運営

評価分類	評価の理由(コメント)
IV-1 保育所の地域開放・地域コミュニティへの働きかけ 	<p>年に数回行っている「地域ふれあい会」は老人会と連携しています。公園愛護会と協力し、子どもたちが貝の浜公園の植樹や花壇作り活動に参加しています。小学校とは5歳児クラスが就学に向けての学校体験のほか、幼保小連携を通し、子ども同士の交流について話し合っています。中学校とは職業体験の受け入れや年に1度保育士が講師として赴き、保育士職業について講話をしています。毎月、地区センターで開催している就園前の親子向けの「生麦にこここサロン」には5歳児クラスがお世話係で参加しています。地域の他園との計画的な交流機会も持っています。さまざまな取り組みにより園に対する理解促進や子どもたちが地域の人々と交流を図ることができるように努めています。</p>

<p>IV-2 サービス内容等に関する 情報提供</p> 	<p>利用希望者の問い合わせや見学希望には、主に園長が対応しています。問い合わせ時に園長が不在の場合には折り返し連絡をすることもあります。丁寧な説明を心がけているので見学は個別に対応しています。希望者の都合に応じ、午前、午後のほか、土曜日も対応しています。見学時にはパンフレットと保育支援ブックを配付しています。</p>
<p>IV-3 ボランティア・実習の受け 入れ</p> 	<p>ボランティア受け入れマニュアルがあります。受け入れ時には事前にオリエンテーションを行い、行事計画書に記録を残しています。定期的な地域ボランティアによるお話会、大学生のハンドベル演奏、クリスマス会のサンタクロース役など協力後は感想を聞いています。</p> <p>保育園の理解が深まり、保育士がやりがいのある仕事であると感じてもらえるように、毎年実習生を受け入れています。受け入れの際は実習生の受け入れマニュアルに沿った対応をしています。実習生の目標に合ったプログラム設定をし、実習生が学ぶクラス担任が中心となり指導をしています。最終日には園長、主任も参加し反省会を開いています。</p>

評価領域 V 人材育成・援助技術の向上

評価分類	評価の理由(コメント)
<p>V-1 職員の人材育成</p> 	<p>園の人材構成のチェックとしては、年2回園長による全職員の面談を実施して、職員の自己評価表に基づいて、目標の達成や課題、反省点など話し合っています。職員の採用はホームページからリンクする法人の採用情報サイトで募集し、海外含む職員研修を紹介しています。職員採用時には保育理念や方針に共感し理解できるかを確認し、新人研修ははじめ年間の研修や毎日の保育や振り返りへの指導およびアドバイス等の育成体制を整えています。個々の資質向上に向けた目標は園長面談で定め、チェックリストを使い自己評価を年3回行い、年度末には各項目について達成度を評価しています。</p> <p>法人や外部の研修受講については、全職員の参加希望を募り、職員の目標や状況に合わせて園長と主任で研修計画を作成しています。園内研修は全職員が参加できるよう毎月実施しています。日本保育協会や行政等が開催する研修には、常勤非常勤の区別なく参加し、報告書を園内で回覧または職員会議で報告しています。社会福祉協議会等の大会や他園や小学校での研修にも参加して園の幼保小連携計画などに活かされています。海外研修も含め法人や外部研修への参加者、園内研修のテーマは評価して、次の研修計画をも直しています。</p> <p>非常勤職員にも保育士業務マニュアルが配布されています。クラス担当の職員と非常勤職員、ベテランと新人など組合せに配慮しています。非常勤職員は常勤職員と同様に資質が求められている事は承知して、園内研修だけでなく外部研修への参加や、子ども達や保護者および園内の情報伝達は同様に旨とし、出勤時には情報周知を励行し、不明な点については常勤職員やベテランもしくは主任の指導を取り決め、職員間は気軽に話せる習慣づけにより日常的なコミュニケーションが図られています。</p>

<p>V-2 職員の技術の向上</p> 	<p>保育の質の向上を図るためには保育士一人一人が高い専門性と豊かな資質を持つことが重要として、年3回、保育に関する自己評価表を記入し、課題を見つけ年度末の職員会議で話し合い、園の自己評価としてまとめています。保育日誌や月の指導計画、週の指導計画には実践をふり返る欄を設け、子ども達への対応について改善や良かった事例を毎月の職員会議では報告して、考え学ぶ機会としています。また他園の事例や専門職からの問題提起などで会議や園内研修として勉強の機会がもたれています。法人の園長会議での当園の取り組みへのアドバイスや研修への参加により指導を受ける機会があります。</p> <p>職員は、「自己評価チェックリスト」に記載の160項目を越える保育士としての心得や知識、能力、理解度や姿勢など自己を毎月評価し、自分の課題や次なる目標を設定しています。保育の振り返りは、活動や結果に留まらず、子どもの発育や意欲、取組む課程を重視しています。振り返り内容はクラスミーティングや職員会議等に報告し、進捗や対応を評価し、改善や次なる目標へつなげています。園の自己評価は、理念や方針および保育課程に則って行い、年度末には、保護者に実施した「保育園現況アンケート」の集計結果とともに、書面で配布しています。</p>
<p>V-3 職員のモチベーションの維持</p> 	<p>勤務規定は園長、主任、職員別に定め、役割が明文化されています。職務分担表では業務水準に応じた経験や能力および習熟度が期待されており、園長面談の結果によりその年度の職員業務分担、年間行事担当を決めています。クラス担当は毎日の情報共有と協力により、子どもの発達や状況を判断して保育を進めるよう権限を委譲しています。クラスの保育には、必要に応じて主任が援助協力や指導を行い、園長も日常的に職員からの相談へはアドバイスを行っています。職員からの業務改善や意見についてはクラスミーティングや職員会議、日誌や各種記録や報告書で伝えられ、年3回の保育の自己評価表では、各項目について◎○△で評価し自由記入欄に改善への提案や意見を記述しています。行事担当や保育の権限委譲により職員のやりがいや満足度を高める事に努め、園長面談および主任の職員相談への対応などで職員の満足度や要望について把握しています。</p>

評価領域 VI 経営管理

評価分類	評価の理由(コメント)
<p>VI-1 経営における社会的責任</p> 	<p>組織および職員が守るべき法や規範、倫理等は勤務規定に明文化して、「保育スタッフの心得チェックリスト」として全職員に配布しています。掲示もして日常的に意識づけています。決算報告など経営情報は業務報告として職員に周知され、法人のホームページで情報開示しています。他園や福祉事業等で不正や不適切な事案が生じた場合は、園長会議議事録や新聞記事などを掲示したり職員会議で話し合い、発生予防啓発としています。</p> <p>ごみの減量化やリサイクルへの取り組みについては、ゴミの分別による古紙の利用や生ごみの肥料利用、資源ごみであるポリパックやペットボトルなどの制作活動や工作素材に利用しています。園庭の樹木や夏場の緑化による遮光効果、小まめな</p>

消灯や室温調整など節電に取り組んでいます。水回りにはポスターを掲示して水栓の閉め忘れ防止など節水に努めています。行事担当や保育の権限委譲により職員のやりがいや満足度を高める事に努めています。環境への配慮や取り組みは実施していますが、運営に生かすべく明文化については確認できませんでした。

VI-2 施設長のリーダーシップ・主任の役割等



保育理念や保育方針および園の目標を明文化し掲示するとともに書面化したものを「園のしおり」に掲載して全職員に配布しています。年度末から次年度に向けた職員会議では全職員で確認しながら理解度を深めています。職員採用時には、理念や基本方針、保育目標を理解してもらえるか評価しています。毎月の保育指導計画の振り返りでは、理念や方針、保育の目標に則っているか確認を行い、職員が実施の自己評価チェックでも「理念や方針を正しく述べる事ができるか」評価しています。

年間のイベント計画については昨年度のアンケート結果を反映して計画し、実施後にアンケートを行い保護者の意見をまとめて質問には回答しています。2歳児の受入れ人数の変更による保育室の移動など、重要な意思決定にあたっては、職員会議において十分に理解し保護者へ説明ができるよう努め、書面と送迎時に口頭で説明して保護者の了解や意見を聴取しました。保護者の質問や意見に対しては、クラス担当および園長や主任が同様に、都度、説明することを組織的に取り組みました。

園長は年1回の職員面談で主任および主任候補者に向けて、期待する役割を伝え、園の研修では主任および主任補佐的リーダー研修計画を実行しています。主任には相談援助やソーシャルワーク研修によりスーパーバイズ能力を身に付けています。外部研修では人権擁護や園内研修計画、職員指導等を学び、各クラスに入ってクラス担当の経験や能力に合わせて的確な助言や業務指導を行っています。主任は職員一人一人が精神肉体ともに良好に勤務できるよう気遣い、シフト調整や体調への配慮、アドバイスをしています。

VI-3 効率的な運営



「こども・子育て新保育システム」など行政の最新情報、他園の情報を収集し、法人の理事会では重点改善課題として討議しています。その結果は園長と主任で十分に協議した上で職員会議に報告し、運営改善課題について話し合っています。法人は次代の組織運営に備え、期待される組織上の役割を明確に職層別、段階的な職員研修を実施しています。園長は、園の運営やサービスプロセスの新たなしくみについて職員と意見交換を行い、保育へ向上心を持って遂行するように伝えていきます。園の運営面の課題については法人の理事会での討議や意見交換により専門的な意見を取り入れています。法人は中長期的な事業計画を定め、園の保育の専門性を高めるための取り組みでは方向性を反映しています。園の事業計画は法人の理念や方針に基づいて計画されており、次代に向けた人材育成に取り組んでいますが、園独自の中長期的事業計画は今後の課題とされています。

本人調査

本人調査(平成28年度)

結果の特徴

【0歳児】

2階のテラスに出て遊びます。大きさの違うカラフルなボールをたくさん用意しています。職員が転がしたボールをハイハイで追いかける子どもがいます。「ちょうだいな」の声に「ポーン」と言いながら上手に投げ返します。後ろで様子を見ていた調査員を振り返り「どう？」という得意気な表情を見せます。トコトコと歩き、ハイハイしてまた歩くを繰り返す子どももいます。陽光を浴びて「あ～あ～」とご機嫌な声を出しながらハイハイする子どももいます。「○○ちゃん、ずいぶんいっぱい歩けるね」「じょうずじょうず」「まてまて～」「お天気いいからいい気持だね」など子どもたちに向け、あちこちから職員の穏やかで優しい声がかかります。体調によりテラス遊びを控えた子どもは、保育室でおもちゃを広げ、職員を独り占めしています。

自分でスープを飲んで「あ～」と満足げなため息をつく子どもがいます。スプーン、手づかみと自分のペースで食べています。残り少なくなると職員は「あつまれる？」子どもがコクンとうなずくと茶碗の中身をひとまとめにし、「はいどうぞ」と渡します。食べ終わると「はい、ピカピカです」。子どもはにっこり笑顔です。除去食を提供している子どもはテーブルを離し、職員が一人傍らについています。

カーテンを引きますが、適度な明るさにしています。子どもたちは、抱っこ、おなかをトントン、おでこをなでてもらったりして入眠しています。午前寝をしてまだ眠くない子どもは布団でコロコロしたり、ハイハイを始めたりしています。

【1歳児】

よさこいソーランの音楽がかかると子どもたちの表情が輝きます。5歳児クラスが運動会の演目で練習していたのを見たり、音楽を聞いてお気に入りになったようです。職員の「どっこいしょ～」「ソーランソーラン」の掛け声に合わせて、手を広げたり、足を蹴り上げたりリズムに乗っています。

2階の保育室から外階段を使い園庭に降ります。職員が「ゆっくりだよ」「いちに、いちに」と声をかけ、子どもたちは慎重に降りていきます。準備体操代わりに園庭で少しかけっこをします。数名の子どもが水槽の中のカメのみどりちゃんに興味深げにのぞき込んでいます。バギーに乗る子どもと職員と手をつないで歩く子どもに分かれ出発です。「こーき」上空のヘリコプターを目ざとく見つける子どもがいます。気持ちが良いのか何か歌を口ずさんでいる子どもがいます。「こんにちは」と職員から挨拶をされた通りすがりの人は、子どもたちを見て「かわいいね～」と目を細めています。公園では、職員が作るシャボン玉を追いかけたり、両手でぱちんとしたり歓声があがります。チョウチョやアリ探しをする子どももいます。転んだときはすぐに職員が駆け寄り「泣かないで強いね」と抱き上げています。

絵本を広げる子ども、職員に読んでもらっている子ども、チェーンを食材に見立てて、ままごとセットの流しで「ジャー」と洗っている子ども、押し入れのレールを線路に見立てて電車のおもちゃを動かしている子どもと思いつきに遊んでいます。おもちゃを取られ大泣きし、職員に訴えますが、取った子どもは我関せず無関心を装います。職員にすぐ慰められ泣いた子どもの機嫌は直ります。取った子どもに特に言葉での注意はありませんでしたが、表情を少し見た後、頭を優しくポンポンしています。

【2歳児】

子どもたちの食欲は旺盛です。職員は様子を見ながら早く食べ終わった子どもに「おかわりする？」と聞いています。きれいに食べ終わった子どもの茶碗を見て「ピカピカすごい。光ってまぶしい」と褒めています。苦手な大根を口に入れ、えずいてしまった子どもには「○○ちゃん、頑張ったね。無理しなくて大丈夫だからね」と励ましています。少しバツの悪そうな表情でしたが、気を取り直し食べ始めました。キノゴはんが苦手なだけで少しだけ食べた子どもは、途中で白いご

はんに替えてもらっています。

食事が終わった子どもから歯磨きをしています。「先生」と声をかけ、仕上げ磨きをしてもらいます。「先生、おしっこ」「うんち」と伝える子どもに職員が付き添います。パジャマを自分で着替えた子どもに「一人でできたの？すごい。」とハイタッチをしています。

散歩から帰るとトイレに行きます。済んだ後流さないで行こうとすると、職員は「おしっこバイバイしてね」と声をかけます。トイレの外で順番を待っている子どもに「お腹痛いお友だちがいるから、ちょっと待っててね」と伝えています。子どもは納得した様子です。

【3歳児】

朝の会では、子どもは着席して、一人ずつ名前を呼ばれると元気よく手をまっすぐ上にあげて保育士の顔をみます。今日の活動の説明では追いかっこや葉っぱや石の下の虫を探す話になると子ども達は目を輝かせています。トイレに行ってから、お茶を飲み終わると散歩に出発します。2人ずつ手をつないで、行きと同じお友だちと手をつなぎ帰ります。児童公園で遊んで帰ると園庭には5歳児のお兄さんやお姉さんが「おかえりなさい」と声をかけて走り寄ってきました。少し疲れた子ども達は笑顔で「ただいま」の後、タライで足を洗い保育室に入ると、手洗いうがいをしてトイレを済ませました。昼食の準備まで少しの時間を使ったパネルシアターは、猫を主役に物の名前を思い出します。「これは何」の保育士の声に「さかなあ」と一斉に声があがります。貼り付ける絵が変わる度に「ネクタイ」、「ゴリラ」と子ども達は夢中に大きな声で答えます。「まっかな美味しいスイカだと思う人」と保育士が問いかけると、「はい」と子ども達の返事があり、次々と、絵が変わり「へび」になるとキヤーと嬉しそうな声もあがり、赤いもの、黄色いものの問いに、子ども達は想像して答え楽しい気持ちが大きく膨らんだ様子でした。昼食の時間になり、4～5人の食卓ごとの配膳をそのグループの子ども達で協力しています。保育士がよそった主食や主菜の器を自分たちでこぼさないように運びます。食卓の人数分の配膳ができたら着席して、「いただきます」を口々に食事が始まりました。保育士の献立の説明の後、食卓では「魚は嫌いだけど今日は大丈夫」とか「好きな果物」の会話、アニメのヒーローや動物園、公園で遊んだ等、話しながら食事は進みます。保育士から「お代わりできます」の声かけで、ご飯やスープのお代わりを器に入れて自分で運びます。食べ終えた器を「ピカピカ」と保育士やお友達に嬉しそうに報告しています。フルーツを食べ終えると「ごちそうさま」をして器を片付け、同じ種類で重ねます。その後は歯磨きを終えて保育士に見てもらい、昼寝のための着替えを始めるなど、生活ルールを自主的に守っています。

【4歳児】

園庭での朝の会では出席確認と今日の予定の説明のあとにトイレ、手洗いを済ませて、お話し会の保育室に入りました。外部講師によるお話し会は講師席を中心に放射状に椅子を並べ、どの子も講師の顔をみながら話を聴くことができます。講師は、あいさつの後、今日の話の題名を紹介します。話は、歌に合わせて手をたたいたり、指人形の親子が登場して歌や言葉に合わせて抱っこしたり、子ども達が話の内容に集中しやすいよう、五感に訴えるいろいろな形式で進んでいきます。「どっちな」とクイズ形式により、子ども達が考えたり想像して回答する話もあります。歌を交えたり、リズム感の良い講師の語りにより、子ども達は30分間を飽きることなくお話しに集中していました。保育士は付添いが必要な子どもの横で子ども達のお話し会への参加の様子を観察しています。

園庭遊びでは、縄跳びのグループやかっここのグループ、葉っぱを拾う子、砂場遊びと好きな遊びが進んだところで、保育士が子どもの何人かにシャボン玉を手渡すと、シャボン玉を作りたい子と追いかける子に自然と分かれました。大きなシャボン玉を作ろうとする子、小さなシャボン玉を沢山つくって風乗って広がるのを楽しむ子とさまざまで、クラスのほとんどがシャボン玉に集まって走っています。保育士と手をつなぐ配慮の必要な子どももシャボン玉遊びの大きな輪の中に入ってシャボン玉を楽しめているようです。

【5歳児】

徒歩20分程かけて鶴見川河岸を目的地として散歩にでかけました。出発前に、保育士から子どもへ、靴の向きと帽

子着用の確認の声かけ、「土手に行きます」に続けて、「天気はどう？」「昨日雨だったので何が起きそう？」「何に気を付けましょうか？」と子ども達は元気な声で返事をしながら、今日の散歩の注意する事を理解しています。子どもは2人ずつ手をつないで出発すると、工事している路地を渡ることになり、工事の人の顔を見て指示で進み、渡り切ったところでお礼の言葉をかけています。住宅街ですれ違う地域の人へも保育士の挨拶と前後して子どもたちは口々に挨拶をしています。途中の児童公園では、3歳児クラスが遊んでいて、ほとんどが5歳児達に気がついて、歓声を上げて高揚してフェンス内側へ走り寄りました。5歳児は応えて握手をしたり、名前を呼んで手を振って喜びあいました。「水たまりあったあ」の保育士の声に、子ども達は避けたり飛び越しながら前進して土手に到着しました。「川のおいがする」、「釣りをしている」と子ども達は気づいた事を言葉にしなが保育士を前に階段に腰を下ろし話を聞く体制をとっています。「久しぶりの土手ですが、お水はどうですか」、「みんなが劇でやるカラスがいます」と質問には子ども達が大声で答え、見たり驚いたり表情も豊かです。「よーいドンをするので」とスタートと〇〇先生のところがゴールと説明のあと準備体操をして、コンクリートの河岸を使って徒競走を開始しました。風邪ぎみなどで見学をしている数人はゴールで応援をしています。次はゴールまで2人ずつギャロップで進み向きを変えてギャロップと何度か往復を繰り返します。犬の散歩で土手来た何組かの近所の人達は「上手だねえ」と拍手も送っています。子ども達に汗が出たころ終了してお茶が配られ、自由遊びになる前に、手をたたいて10までの数え歌を歌いました。「靴が脱げるお友達が多いのでしっかり止めましょう」「自由遊びの範囲」など注意を受けて、子ども達は大きな声で返事をして自由遊びが始まります。よーいドンをするグループ、拾った貝殻の観察や音を出して歌う子、バツやタンポポの綿毛を飛ばして遊ぶ子、「この黄色い花知っている」「〇〇かなあ」図鑑で調べてみようという子、体調により走れない子もさまざまに秋の自然を楽しんでいました。

利用者家族アンケート調査結果

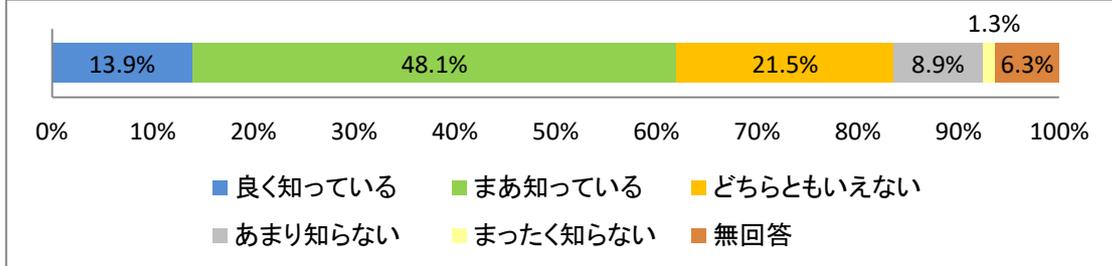
(まとめ) 各項目の回答内訳

園児数 109人		世帯数 97世帯		回収数 79世帯		回収率 81.4%	
質問項目		満足	どちらかといえは満足	どちらかといえは不満	不満	その他	無回答
問2-1	見学の受け入れについては	63.3%	25.3%	1.3%	1.3%	0.0%	10.1%
問2-2	入園前の見学や説明など、園からの情報提供については	57.0%	32.9%	3.8%	3.8%	0.0%	6.3%
問2-3	園の目標や方針についての説明には	50.6%	40.5%	2.5%	2.5%	0.0%	5.1%
問2-4	入園時の面接などで、お子さんの様子や生育歴などを聞く対応については	68.4%	25.3%	3.8%	3.8%	0.0%	2.5%
問2-5	保育園での1日の過ごし方についての説明には	58.2%	31.6%	7.6%	7.6%	0.0%	2.5%
問2-6	費用やきまりに関する説明については (入園後に食い違いがなかったかを含めて)	58.2%	34.2%	3.8%	3.8%	0.0%	2.5%
問3-1	年間の保育や行事についての説明には	55.7%	39.2%	3.8%	3.8%	0.0%	1.3%
問3-2	年間の保育や行事に、保護者の要望が活かされているかについては	54.4%	39.2%	3.8%	3.8%	0.0%	2.5%
問4-1	クラスの活動や遊びについては (お子さんが満足しているかなど)	64.6%	32.9%	1.3%	1.3%	1.3%	0.0%
問4-2	子どもが戸外遊びを十分しているかについては	69.6%	29.1%	0.0%	0.0%	1.3%	0.0%
問4-3	園のおもちゃや教材については (お子さんが自由に使えるように置いてあるか、年齢にふさ)	60.8%	32.9%	3.8%	3.8%	0.0%	2.5%
問4-4	自然に触れたり地域に関わるなどの、園外活動については	64.6%	31.6%	3.8%	3.8%	0.0%	0.0%
問4-5	遊びを通じて友だちや保育者との関わりが十分もてているかについては	55.7%	39.2%	3.8%	3.8%	1.3%	0.0%
問4-6	遊びを通じたお子さんの健康づくりへの取り組みについては	55.7%	40.5%	1.3%	1.3%	1.3%	1.3%
問4-7	給食の献立内容については	73.4%	24.1%	1.3%	1.3%	1.3%	0.0%
問4-8	お子さんが給食を楽しんでいるかについては	70.9%	29.1%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
問4-9	基本的な生活習慣(衣服の着脱、手洗いなど)の自立に向けての取り組みについては	63.3%	31.6%	5.1%	0.0%	0.0%	0.0%
問4-10	昼寝や休憩がお子さんの状況に応じて対応されているかなどについては	69.6%	26.6%	1.3%	2.5%	0.0%	0.0%
問4-11	おむつはずしは、家庭と協力し、お子さんの成長に合わせて柔軟に進めているかについては	50.6%	29.1%	5.1%	1.3%	11.4%	2.5%
問4-12	お子さんの体調への気配りについては	69.6%	25.3%	2.5%	2.5%	0.0%	0.0%
問4-13	保育中あったケガに関する保護者への説明やその後の対応には	57.0%	22.8%	17.7%	2.5%	0.0%	0.0%
問5-1	施設設備については	35.4%	44.3%	11.4%	2.5%	6.3%	0.0%
問5-2	お子さんが落ち着いて過ごせる雰囲気になっているかについては	53.2%	35.4%	7.6%	1.3%	2.5%	0.0%
問5-3	外部からの不審者侵入を防ぐ対策については	44.3%	40.5%	7.6%	3.8%	2.5%	1.3%
問5-4	感染症の発生状況や注意事項などの情報提供については	43.0%	44.3%	7.6%	5.1%	0.0%	0.0%
問6-1	保護者懇談会や個別面談などによる話し合いの機会については	48.1%	36.7%	7.6%	1.3%	5.1%	1.3%
問6-2	園だよりや掲示などによる、園の様子や行事に関する情報提供については	72.2%	21.5%	3.8%	0.0%	1.3%	1.3%
問6-3	園の行事の開催日や時間帯への配慮については	63.3%	29.1%	2.5%	0.0%	3.8%	1.3%
問6-4	送り迎えの際、お子さんの様子に関する情報交換については	45.6%	36.7%	8.9%	3.8%	2.5%	2.5%
問6-5	お子さんに関する重要な情報の連絡体制については	57.0%	26.6%	8.9%	2.5%	3.8%	1.3%
問6-6	保護者からの相談事への対応には	55.7%	35.4%	3.8%	1.3%	1.3%	2.5%
問6-7	開所時間内であれば柔軟に対応してくれるなど、残業などで迎えが遅くなる場合の対応については	60.8%	30.4%	5.1%	0.0%	1.3%	2.5%
問7-1	あなたのお子さんが大切にされているかについては	57.0%	35.4%	5.1%	1.3%	0.0%	1.3%
問7-2	あなたのお子さんが保育園生活を楽んでいるかについては	62.0%	30.4%	6.3%	0.0%	0.0%	1.3%
問7-3	アレルギーのあるお子さんや障がいのあるお子さんへの配慮については	53.2%	32.9%	2.5%	0.0%	8.9%	2.5%
問7-4	話やすい雰囲気、態度であるかどうかについては	64.6%	26.6%	3.8%	3.8%	0.0%	1.3%
問7-5	意見や要望への対応については	55.7%	36.7%	1.3%	2.5%	1.3%	2.5%

■ 保育園の基本理念や基本方針

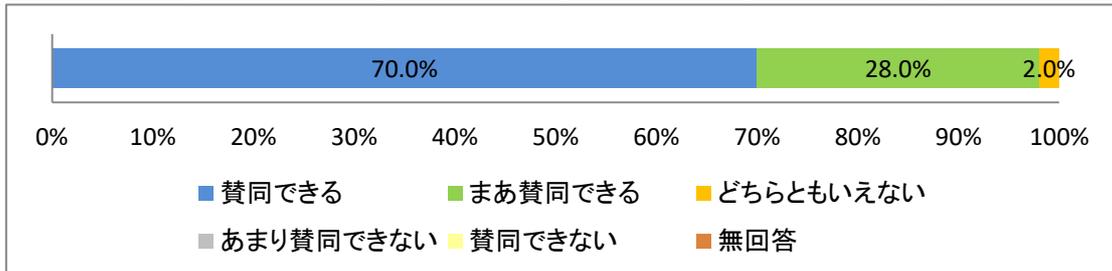
問1 あなたは、この園の保育目標・保育方針をご存知ですか

良く知っている	まあ知っている	どちらともいえない	あまり知らない	まったく知らない	無回答
11	38	17	7	1	5



付問1 【問1で「よく知っている」または「まあ知っている」とお答えの方へ】
あなたは、その保育目標や保育方針は賛同できるものだと思いますか。

賛同できる	まあ賛同できる	どちらともいえない	あまり賛同できない	賛同できない	無回答
35	14	1	0	0	0

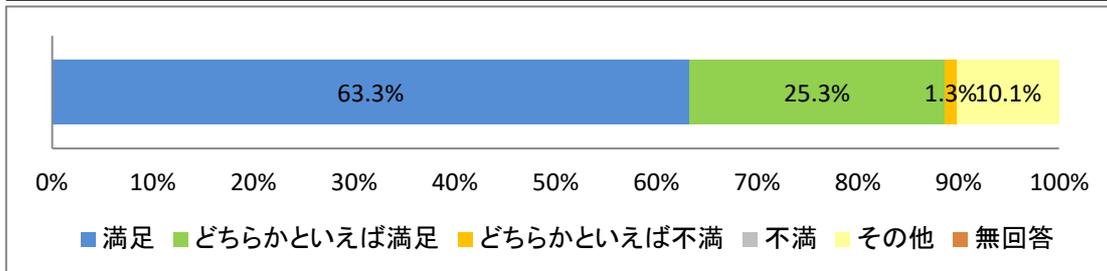


■保育園のサービス内容について

入園時の状況

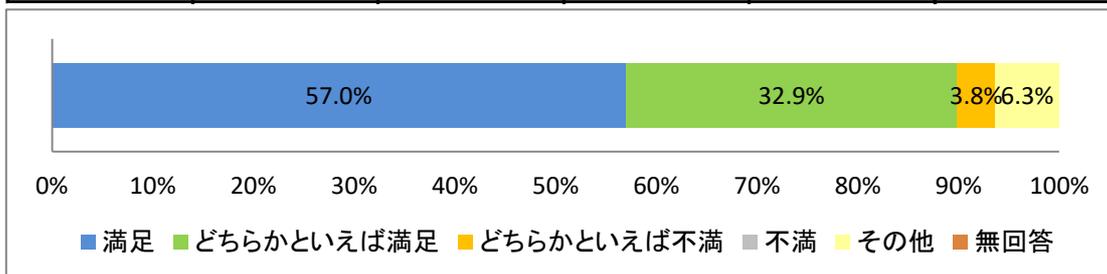
問2-1 見学の受け入れについては

満足	どちらかといえば満足	どちらかといえば不満	不満	その他	無回答
50	20	1	0	8	0



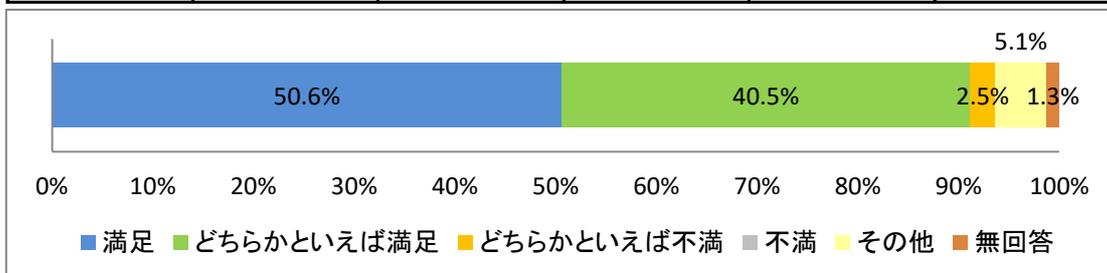
問2-2 入園前の見学や説明など、園からの情報提供については

満足	どちらかといえば満足	どちらかといえば不満	不満	その他	無回答
45	26	3	0	5	0



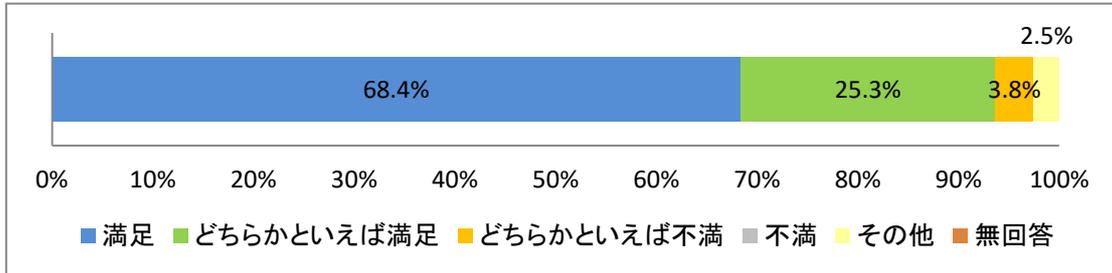
問2-3 園の目標や方針についての説明には

満足	どちらかといえば満足	どちらかといえば不満	不満	その他	無回答
40	32	2	0	4	1



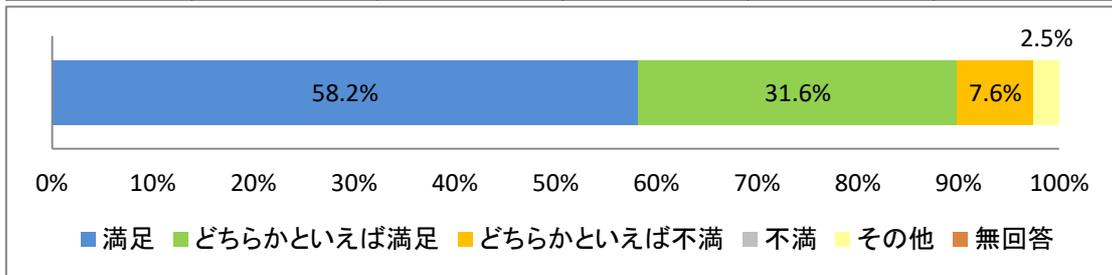
問2-4 入園時の面接などで、お子さんの様子や生育歴などを聞く対応については

満足	どちらかといえば満足	どちらかといえば不満	不満	その他	無回答
54	20	3	0	2	0



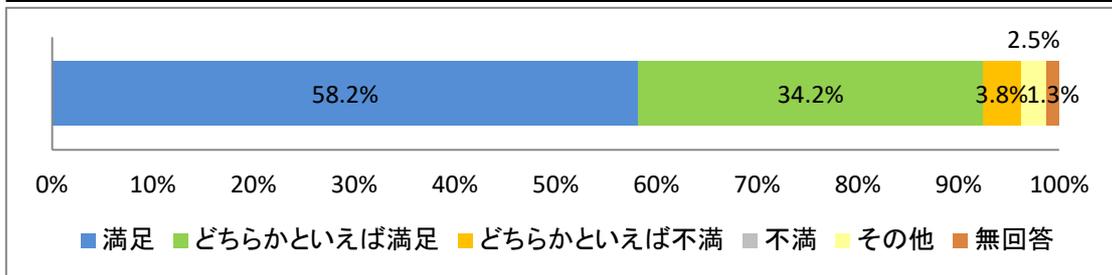
問2-5 保育園での1日の過ごし方についての説明には

満足	どちらかといえば満足	どちらかといえば不満	不満	その他	無回答
46	25	6	0	2	0



問2-6 費用やきまりに関する説明については
(入園後に食い違いがなかったかを含めて)

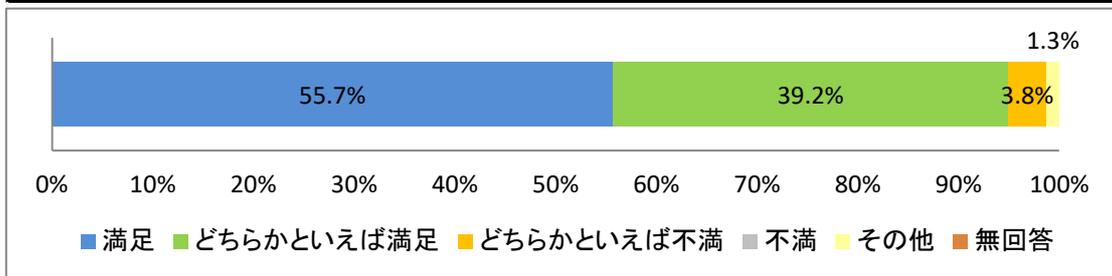
満足	どちらかといえば満足	どちらかといえば不満	不満	その他	無回答
46	27	3	0	2	1



保育や行事の年間計画

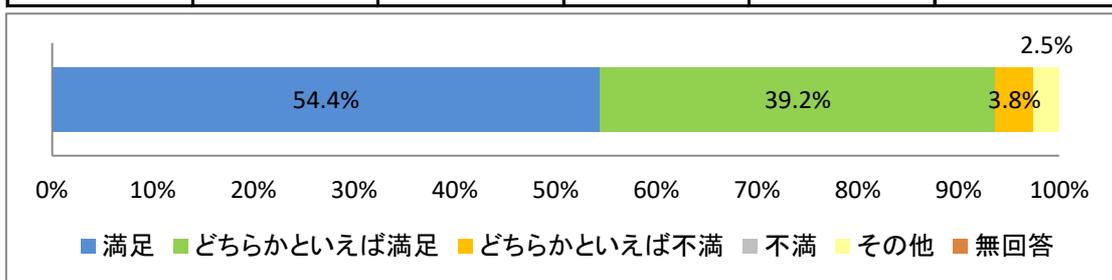
問3-1 年間の保育や行事についての説明には

満足	どちらかといえば満足	どちらかといえば不満	不満	その他	無回答
44	31	3	0	1	0



問3-2 年間の保育や行事に、保護者の要望が活かされているかについては

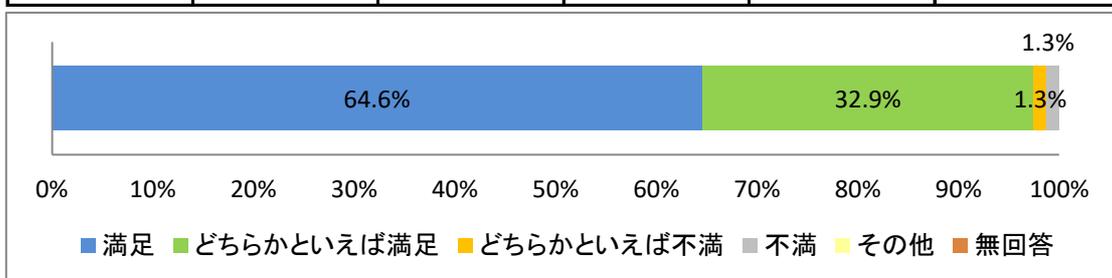
満足	どちらかといえば満足	どちらかといえば不満	不満	その他	無回答
43	31	3	0	2	0



日常の保育内容

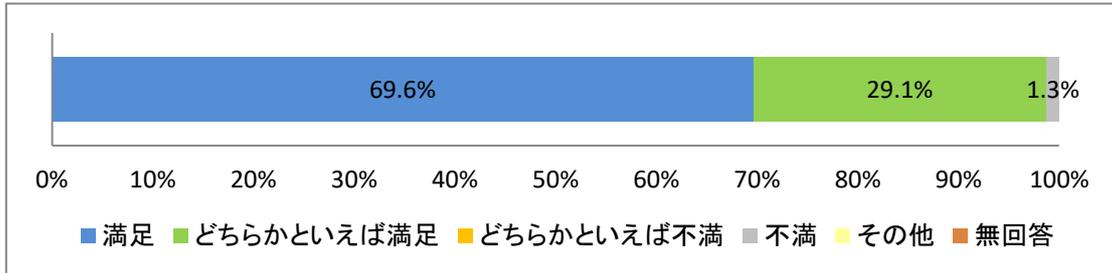
問4-1 クラスの活動や遊びについては (お子さんが満足しているかなど)

満足	どちらかといえば満足	どちらかといえば不満	不満	その他	無回答
51	26	1	1	0	0



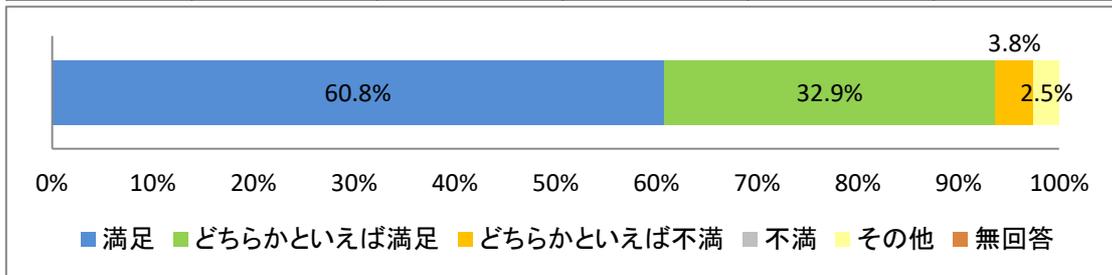
問4-2 子どもが戸外遊びを十分しているかについては

満足	どちらかといえば満足	どちらかといえば不満	不満	その他	無回答
55	23	0	1	0	0



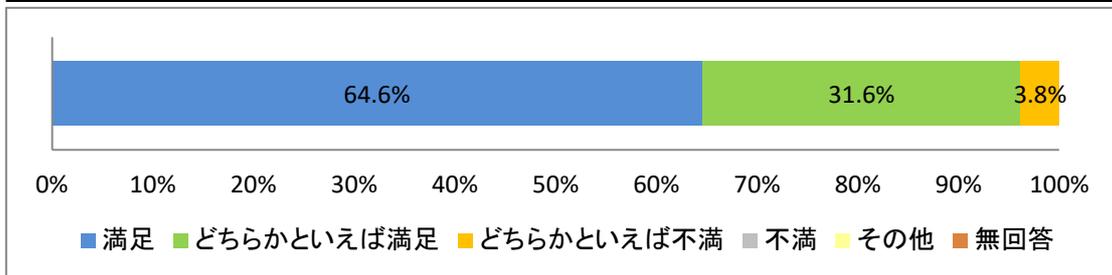
問4-3 園のおもちゃや教材については
(お子さんが自由に使えるように置いてあるか、年齢にふさわしいかなど)

満足	どちらかといえば満足	どちらかといえば不満	不満	その他	無回答
48	26	3	0	2	0



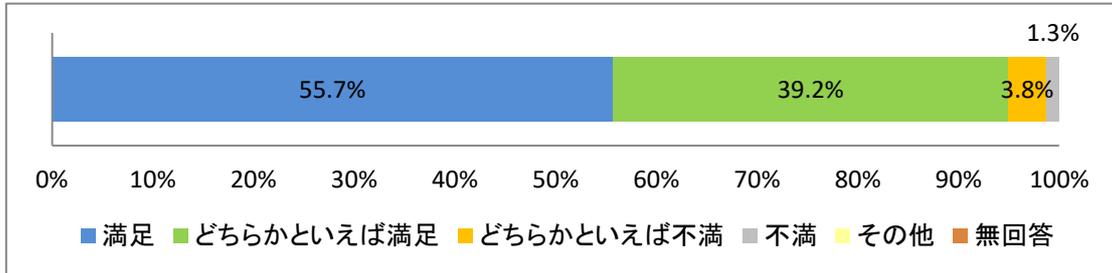
問4-4 自然に触れたり地域に関わるなどの、園外活動については

満足	どちらかといえば満足	どちらかといえば不満	不満	その他	無回答
51	25	3	0	0	0



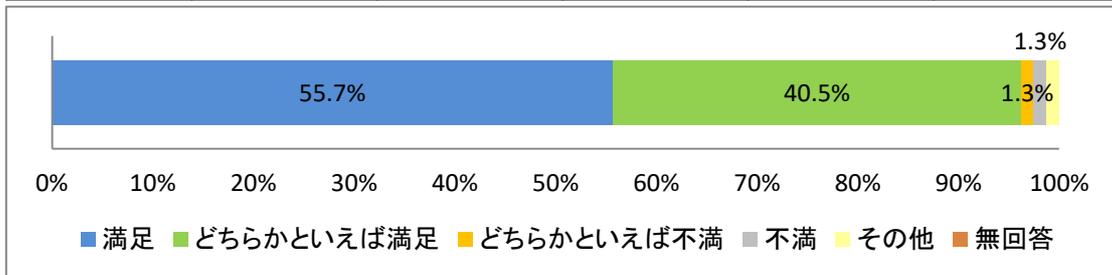
問4-5 遊びを通じて友だちや保育者との関わりが十分もてているかについては

満足	どちらかといえば満足	どちらかといえば不満	不満	その他	無回答
44	31	3	1	0	0



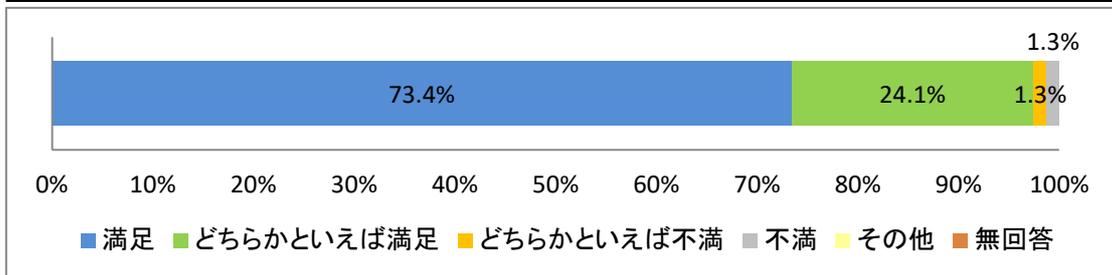
問4-6 遊びを通じたお子さんの健康づくりへの取り組みについては

満足	どちらかといえば満足	どちらかといえば不満	不満	その他	無回答
44	32	1	1	1	0



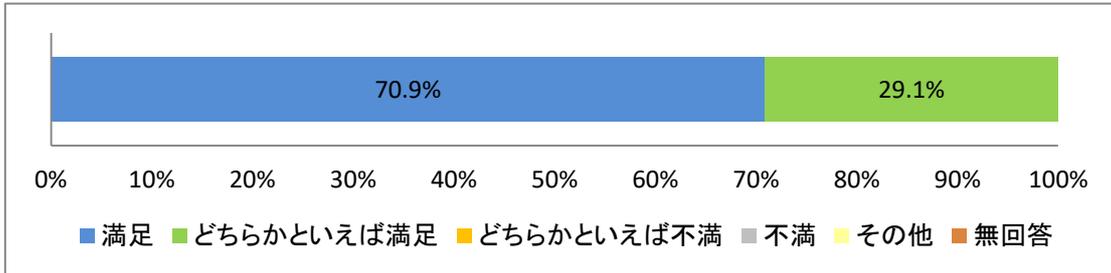
問4-7 給食の献立内容については

満足	どちらかといえば満足	どちらかといえば不満	不満	その他	無回答
58	19	1	1	0	0



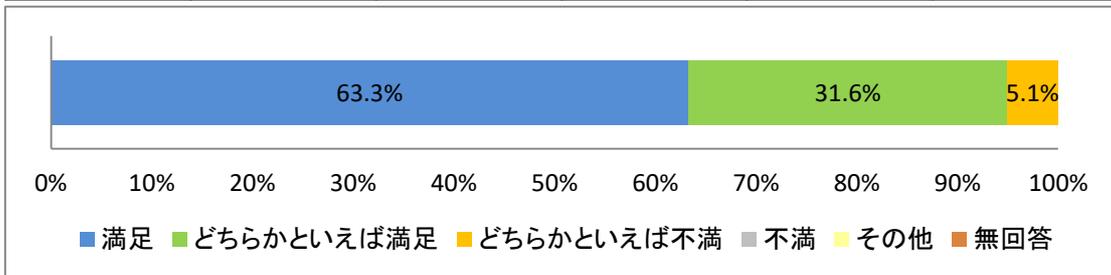
問4-8 お子さんが給食を楽しんでいるかについては

満足	どちらかといえば満足	どちらかといえば不満	不満	その他	無回答
56	23	0	0	0	0



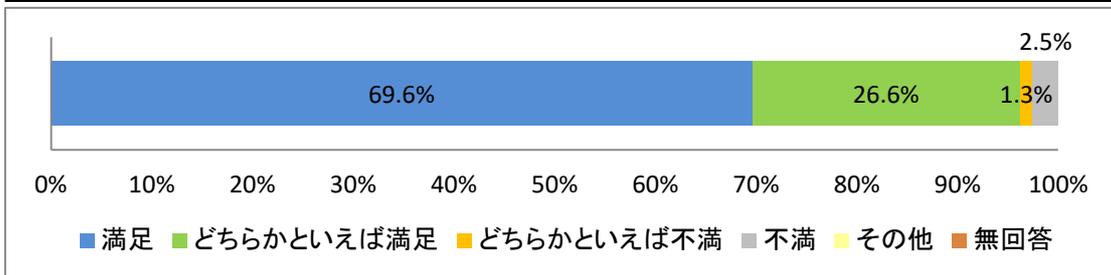
問4-9 基本的な生活習慣(衣服の着脱、手洗いなど)の自立に向けての取り組みについては

満足	どちらかといえば満足	どちらかといえば不満	不満	その他	無回答
50	25	4	0	0	0



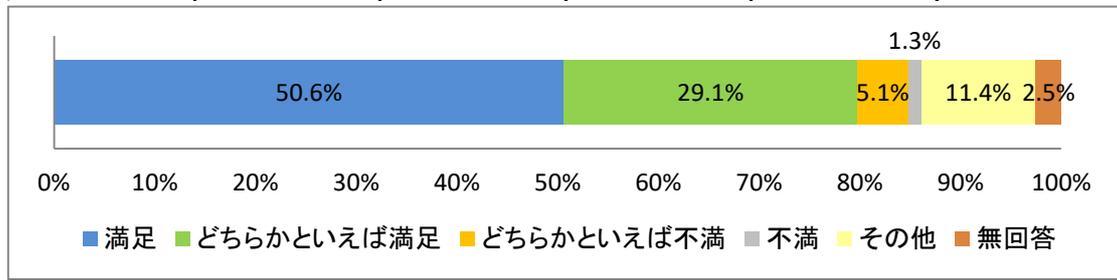
問4-10 昼寝や休憩がお子さんの状況に応じて対応されているかなどについては

満足	どちらかといえば満足	どちらかといえば不満	不満	その他	無回答
55	21	1	2	0	0



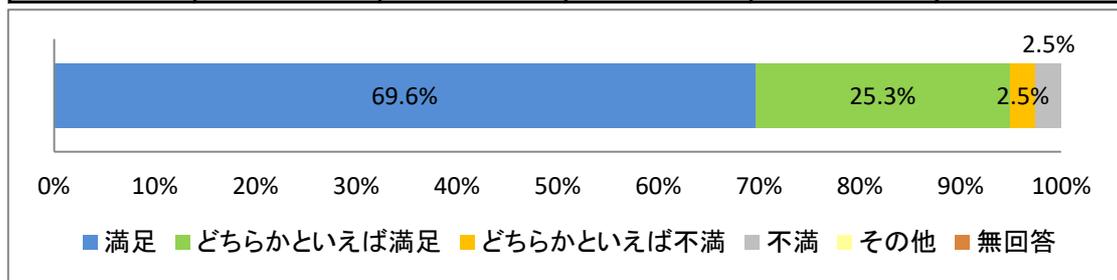
問4-11 おむつはずしは、家庭と協力し、お子さんの成長に合わせて柔軟に進めているかについては

満足	どちらかといえば満足	どちらかといえば不満	不満	その他	無回答
40	23	4	1	9	2



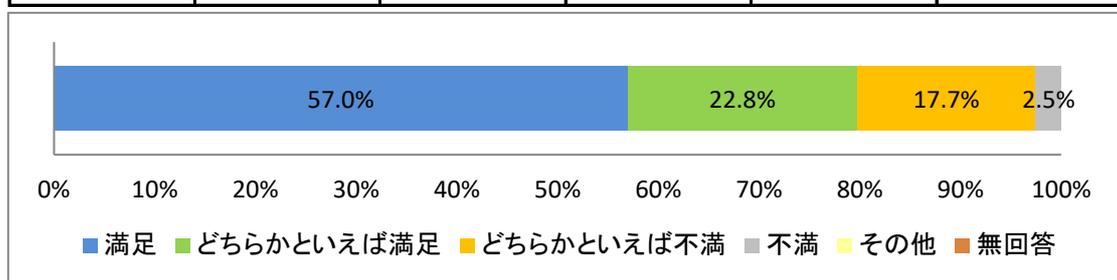
問4-12 お子さんの体調への気配りについては

満足	どちらかといえば満足	どちらかといえば不満	不満	その他	無回答
55	20	2	2	0	0



問4-13 保育中にあったケガに関する保護者への説明やその後の対応には

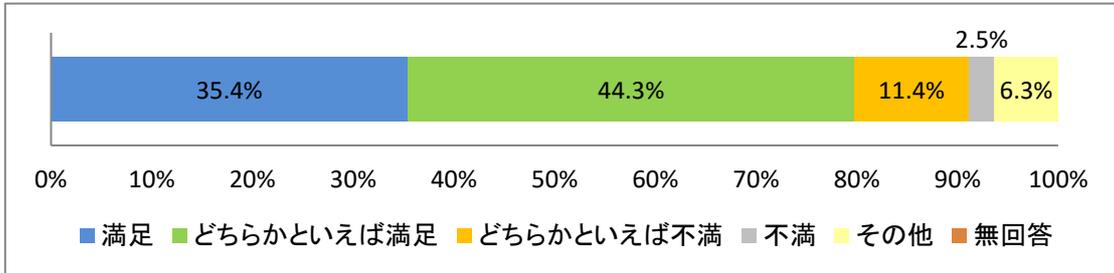
満足	どちらかといえば満足	どちらかといえば不満	不満	その他	無回答
45	18	14	2	0	0



保育園の快適さや安全対策

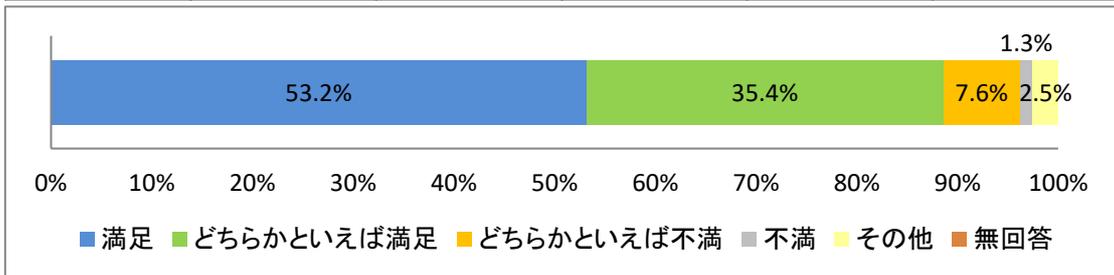
問5-1 施設設備については

満足	どちらかといえば満足	どちらかといえば不満	不満	その他	無回答
28	35	9	2	5	0



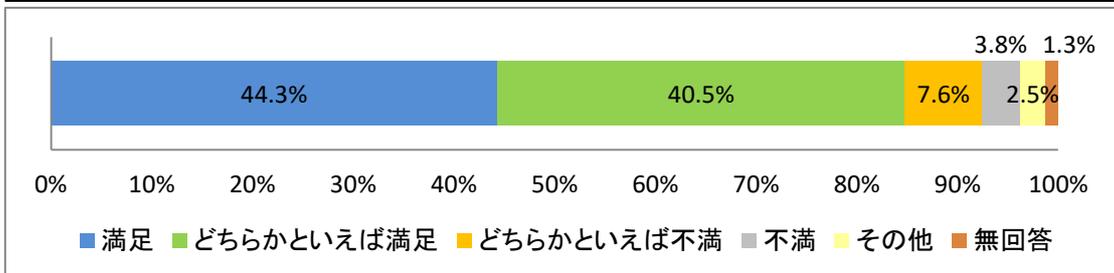
問5-2 お子さんが落ち着いて過ごせる雰囲気になっているかについては

満足	どちらかといえば満足	どちらかといえば不満	不満	その他	無回答
42	28	6	1	2	0



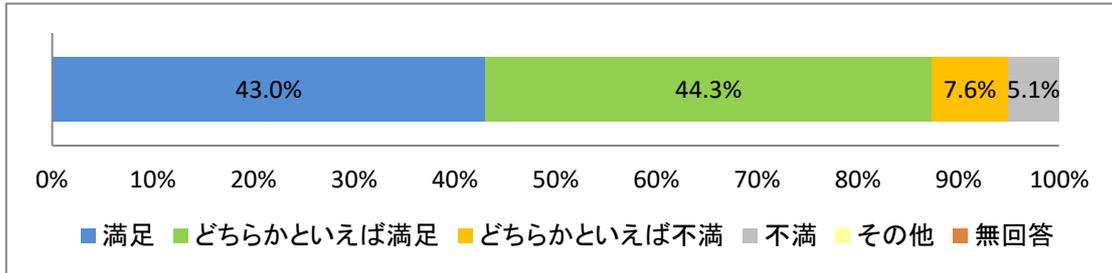
問5-3 外部からの不審者侵入を防ぐ対策については

満足	どちらかといえば満足	どちらかといえば不満	不満	その他	無回答
35	32	6	3	2	1



問5-4 感染症の発生状況や注意事項などの情報提供については

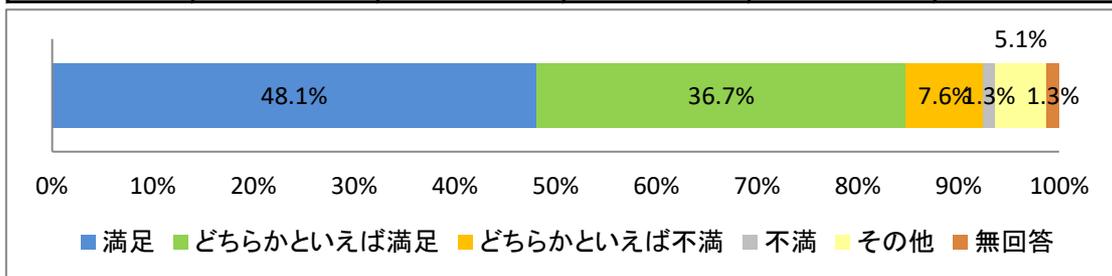
満足	どちらかといえば満足	どちらかといえば不満	不満	その他	無回答
34	35	6	4	0	0



園と保護者との連携・交流

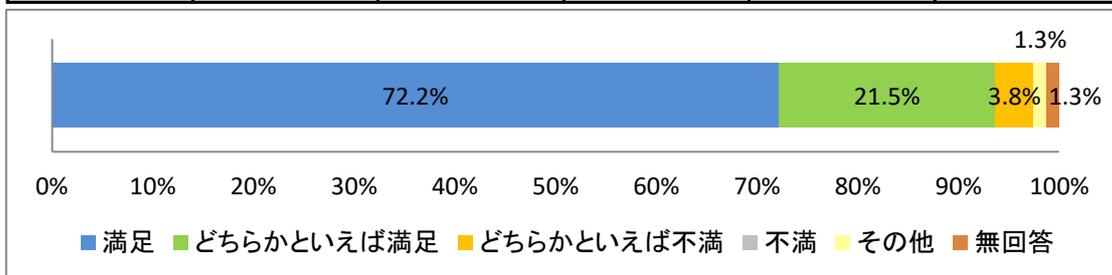
問6-1 保護者懇談会や個別面談などによる話し合いの機会については

満足	どちらかといえば満足	どちらかといえば不満	不満	その他	無回答
38	29	6	1	4	1



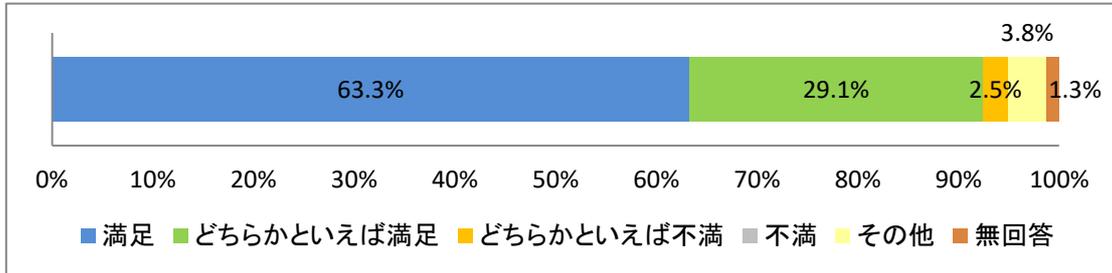
問6-2 園だよりや掲示などによる、園の様子や行事に関する情報提供については

満足	どちらかといえば満足	どちらかといえば不満	不満	その他	無回答
57	17	3	0	1	1



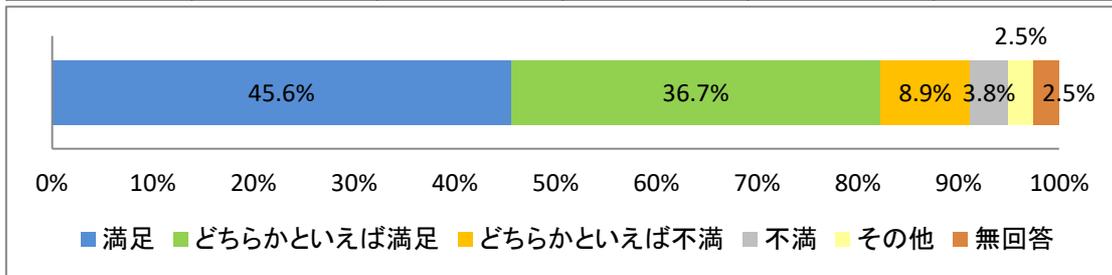
問6-3 園の行事の開催日や時間帯への配慮については

満足	どちらかといえば満足	どちらかといえば不満	不満	その他	無回答
50	23	2	0	3	1



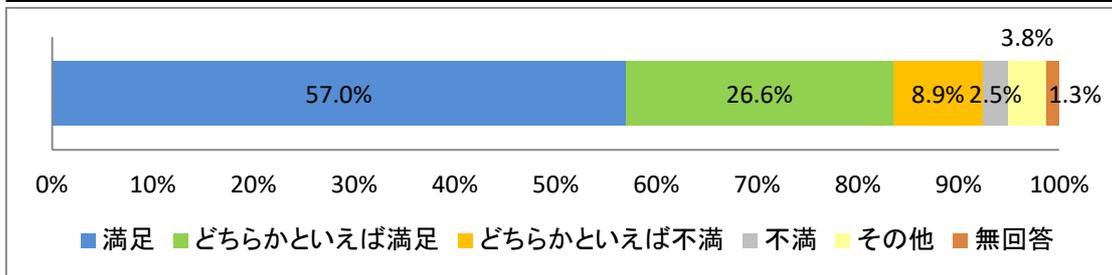
問6-4 送り迎えの際、お子さんの様子に関する情報交換については

満足	どちらかといえば満足	どちらかといえば不満	不満	その他	無回答
36	29	7	3	2	2



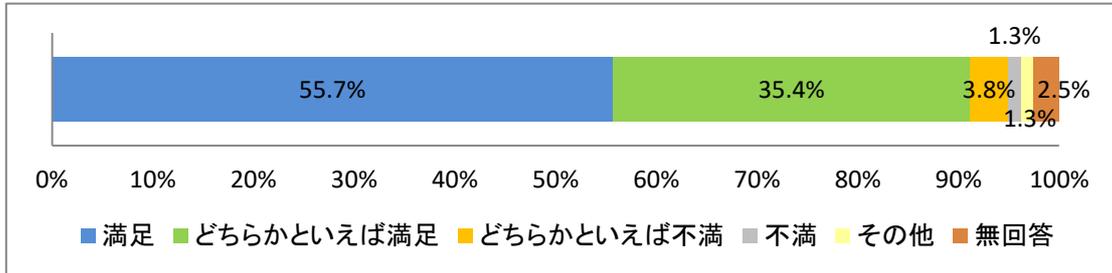
問6-5 お子さんに関する重要な情報の連絡体制については

満足	どちらかといえば満足	どちらかといえば不満	不満	その他	無回答
45	21	7	2	3	1



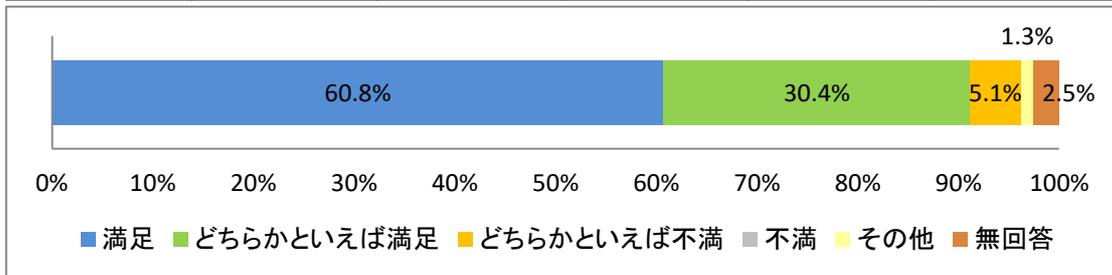
問6-6 保護者からの相談事への対応には

満足	どちらかといえば満足	どちらかといえば不満	不満	その他	無回答
44	28	3	1	1	2



問6-7 開所時間内であれば柔軟に対応してくれるなど、残業などで迎えが遅くなる場合の対応については

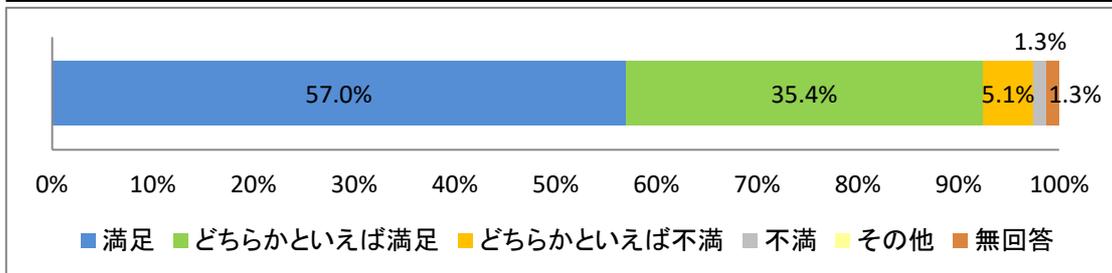
満足	どちらかといえば満足	どちらかといえば不満	不満	その他	無回答
48	24	4	0	1	2



職員の対応

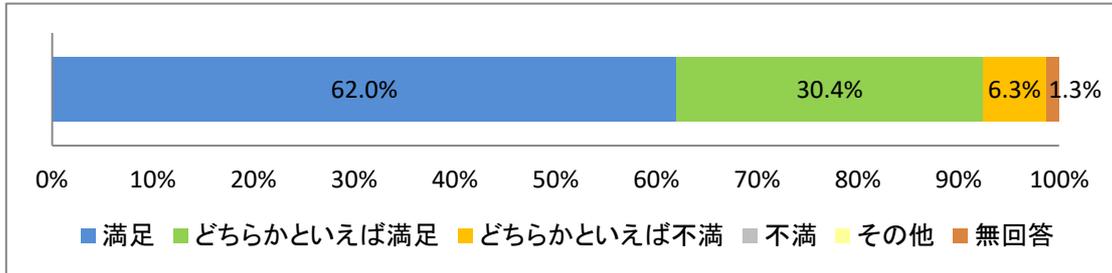
問7-1 あなたのお子さんが大切にされているかについては

満足	どちらかといえば満足	どちらかといえば不満	不満	その他	無回答
45	28	4	1	0	1



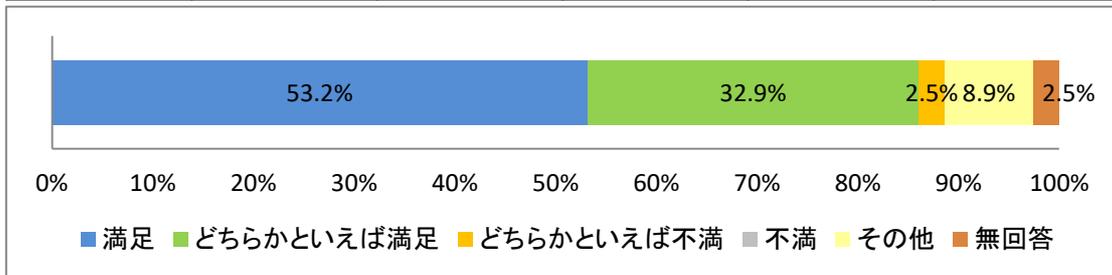
問7-2 あなたのお子さんが大切にされているかについては

満足	どちらかといえば満足	どちらかといえば不満	不満	その他	無回答
49	24	5	0	0	1



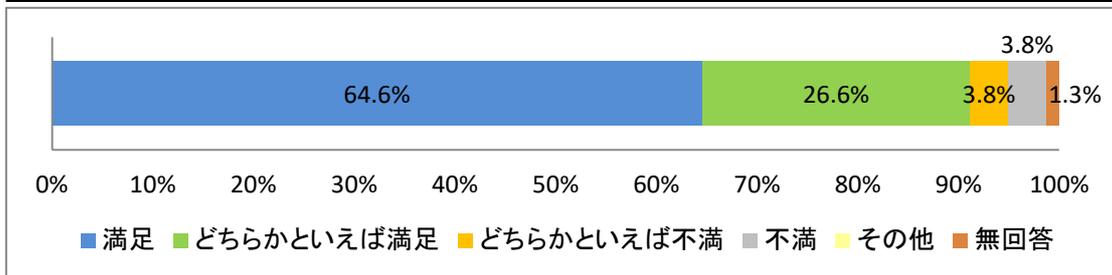
問7-3 アレルギーのあるお子さんや障がいのあるお子さんへの配慮については

満足	どちらかといえば満足	どちらかといえば不満	不満	その他	無回答
42	26	2	0	7	2



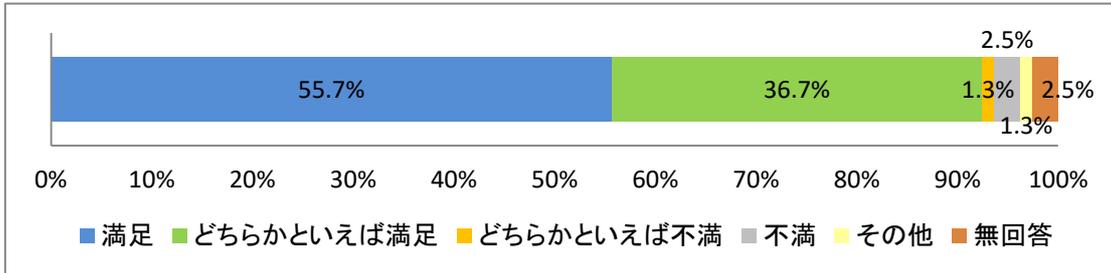
問7-4 話やすい雰囲気、態度であるかどうかについては

満足	どちらかといえば満足	どちらかといえば不満	不満	その他	無回答
51	21	3	3	0	1



問7-5 意見や要望への対応については

満足	どちらかといえば満足	どちらかといえば不満	不満	その他	無回答
44	29	1	2	1	2



問8 総合満足度は

満足	どちらかといえば満足	どちらかといえば不満	不満	その他	無回答
52	23	2	0	0	2

